

# 川崎市神経難病医療連携講演会

日時 2025年7月2日(水) 19:00-20:30

会場 ステーションコンファレンス川崎 roomF+G

開催形式：ハイブリッド配信（現地聴講+Microsoft TeamsでのWeb配信）  
参加お申込み：裏面に御座いますお申込み二次元コードより、お申込みください。  
※本講演会は医療従事者の方を対象にしております。

総合司会 山野 嘉久 先生 聖マリアンナ医科大学 脳神経内科 主任教授

19:05-19:15 講演 「川崎市の地域リハビリテーションセンターの取り組み」

演者 浦田 健司 様 川崎市中心部リハビリテーションセンター  
中部在宅支援室 室長

19:15-19:45 特別講演 「神奈川県難病相談支援の現状と課題  
- かながわ難病相談・支援センターの取り組み -」

演者 今井 富裕 先生 かながわ難病相談・支援センター長  
(国立病院機構箱根病院 院長)

19:45-19:55 質疑応答 ～Q&Aセッション～

19:55-20:25 講演 「多発性硬化症の古今東西 ～ 今、必要な地域連携 ～」

演者 櫻井 謙三 先生 聖マリアンナ医科大学 脳神経内科 講師

20:25-20:30

ClosingRemarks 加茂 力 先生 登戸内科・脳神経クリニック 院長

日本医師会生涯教育講座

0.5単位 (CC12 : 地域医療) 0.5単位 (CC19 : 身体機能の低下)

共催：川崎市内科医会/川崎市医師会  
ノバルティス ファーマ株式会社  
後援：かながわ難病相談・支援センター

[お問い合わせ先]  
ノバルティス ファーマ株式会社  
小池 春樹  
連絡先：080-3478-3751  
haruki.koike@novartis.com

Innovating in  
MS Together

 NOVARTIS

# 川崎市神経難病医療連携講演会

## ご挨拶

このたび、川崎市における今後の難病医療連携体制を考える機会として、「川崎市神経難病医療連携講演会」を開催いたします。

平成27年に難病法が施行されて以降、難病患者さんに対する医療連携体制の整備が求められるようになり、現在、国の指定難病は348疾患に拡大しています。これらの疾患においては、診断、治療、ケアのいずれにおいても高度な専門性が求められ、また、希少性ゆえに医療機関同士の連携の重要性は年々高まっております。

神奈川県では、平成31年4月より、「難病医療提供ネットワーク事業」が開始され、適切な医療提供体制の構築が進められております。現在、県内には4つの難病医療連携拠点病院と29の難病医療支援病院、そして「かながわ難病情報連携センター」が指定され、患者さんのニーズに応じた連携体制の整備が進行中です。

本講演会では、「神経難病における医療連携」をテーマに、現状の課題や今後の方向性について共に確認するとともに、多発性硬化症を例に挙げて具体的な連携体制と最新情報を共有し、川崎市における神経難病医療連携のさらなる進展に寄与することを目的としております。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、川崎市内の多くの医療従事者の皆様にご参加いただきたく、ぜひお誘い合わせのうえご出席賜りますようお願い申し上げます。

神奈川県難病医療連携拠点病院  
聖マリアンナ医科大学 脳神経科内科学  
主任教授 山野嘉久



## WEB視聴のご案内

右記二次元コードより情報登録画面へのアクセスの上、登録項目のご入力をお願いします。  
登録後、メールにて参加URLが届きます。お時間となりましたらメール本文のURLをクリックし、Teamsへのアクセスをお願いします。



WEB参加のご登録

## 現地参加のご案内

会場にも聴講席をご用意しております。現地参加をご希望の場合には、下記二次元バーコードよりお申込みください。  
難病連携の更なる推進のため、是非会場でのご参加もご検討いただけますと幸いです。



現地参加のご登録



Innovating in  
MS Together

 NOVARTIS